

# 救急医療における自傷・自殺未遂レジストリの構築に向けた予備研究 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間：2021年9月7日～2022年3月31日**

## 〔研究課題〕

自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐための救急医療における自傷・自殺未遂レジストリの構築に向けた予備研究

## 〔研究目的〕

自傷・自殺未遂は自殺に至る重要なリスクであり、その実態把握は世界保健機構より求められています。本研究は、医療機関における自傷・自殺未遂者に対する診療状況の実態を調べ、対策に活用することで自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐことを目的とした全国的な自傷・自殺未遂レジストリの構築に向けた、予備的研究です。

## 〔研究意義〕

帝京大学医学部附属病院高度救命救急センターでは、入院された患者の皆様を提供する医療の質的な向上を目指して努力をしております。その中には、診療データを検討し、解析することが含まれています。この予備的研究では、診療データの解析を通じて医療の質的向上と自殺対策への活用を行うためのレジストリを構築するため、その仕組みづくりを担います。

## 〔対象・研究方法〕

対象：2022年3月31日までの間に自傷・自殺未遂により受診された全ての患者様を対象としています。

研究方法：受診時に記録された診療録から、研究計画書に記載された項目(施設情報、基本情報、医療情報、自傷・自殺未遂に関する情報、社会経済状況)について抽出し、個人を特定できないよう匿名化を行った上で、コンピュータ上に記録します。記録されたデータは安全な通信経路を介してサーバーに蓄積し、共同研究機関で共有します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部救急医学講座、SUBARU 健康保険組合太田記念病院、東京都立多摩総合医療センター、日本赤十字社医療センター、横浜労災病院、相澤病院、国立病院機構熊本医療センター、日本医科大学武蔵小杉病院が共同研究機関です。

## 〔個人情報の取り扱い〕

氏名、生年月日等については匿名化し、対応表を用いて管理します。また、研究終了後にデータセットを倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 問い合わせ先

研究責任者：氏名 三宅康史 職名 教授  
研究分担者：氏名 福田吉治 職名 研究科長  
所属：帝京大学医学部救急医学講座 帝京大学大学院公衆衛生学研究科  
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 33129 46147]